

県民の本棚～であい、ふれあい「ちばの本」～(小・中学生から読める本)

保護者・先生方の参考となるよう、「県民の本棚～みんなが選んだ『ちばの一冊』～」で推薦された本の中から、小学生や中学生から読める本の一部を紹介します。

「県民の本棚」の詳細は千葉県立図書館ホームページをご覧ください。

読者対象は目安です(それぞれ略称で表記してあります。対象：小低～(小学校低学年から)、小中～(小学校中学年から)、小高～(小学校高学年から)、中学～(中学生から)読めます)。

内容紹介は「県民の本棚」に寄せられた「推薦の理由」から抜粋しました。「*」は図書館で加えました。

ものがたり

<p>『アメンボ号の冒険』 椎名誠 著 講談社 1999 対象：小高～</p> <p>作者が少年時代に住んでいた町(千葉市の花見川)での体験をもとにした「大冒険記」です。挿絵が多く、それらが具体的に詳細に描かれているのでわかりやすく、一緒に冒険の気分を味わえる一冊です。(女性 30代 千葉市)</p>
<p>『オレンジ党と黒い釜』『魔の沼』『オレンジ党、海へ』 天沢退二郎 著 ブッキング 2004-2005 (fukkan.com) 対象：小高～</p> <p>「オレンジ党、海へ」を手にとったのは、もう20年以上前になる。著者はあとがきで、「この物語中の地名には現実にモデルがある」と記しているとおりに、作品の舞台は著者が中学生や高校生の頃に歩いていた地域のイメージが色濃く反映されており、どうやら千葉市から習志野市あたりらしい。本書の表紙裏にはそれを伺わせる架空の地図もある。独立した作品ではあるが、「三つの魔法」3部作の第3作目であるので、「オレンジ党と黒い釜」、「魔の沼」と順番に読んでほしい。著者は東京生まれだが、長く千葉市在住。詩人でありフランス文学者であり、宮沢賢治の研究者でもある。(女性 50代 市川市)</p>
<p>『千葉の童話』 日本児童文学者協会『県別ふるさと童話館』編集委員会 編集 リブリオ出版 1997 (愛蔵版県別ふるさと童話館) 対象：小高～</p> <p>*千葉県を舞台にした創作童話や少年少女詩を集めた童話集です。</p>
<p>『ベロ出しチョンマ』 斎藤隆介 作 滝平二郎 絵 理論社 2000 (新・名作の愛蔵版) 対象：小高～</p> <p>若いときから、斎藤隆介・滝平二郎コンビの作品の大ファンでした。四街道町(当時)に在住ということも後で知り、親しみが増し、サイン会ではドキドキしながら順番まちをしました。「ベロ出しチョンマ」は、佐倉義民伝の木内宗五郎一家の出来事を下地に作品となったともいわれています。はりつけ刑におびえて泣く幼い妹。その妹におどけ顔をみせて、その一瞬のこわさを忘れさせようとするチョンマ。胸をうたれます。(女性 60代 富里市)</p>
<p>『少年八犬伝 上・下』 小野裕康 著 多田ヒロシ 絵 理論社 1988 (地平線ブックス) 対象：中学～</p> <p>下敷きになる物語が「八犬伝」というだけでなく、この物語の舞台も千葉県北西部らしさが出ていたと記憶しています。ハリーポッターやナルニアだけでなく、自分達の生きる町にもファンタジーがあるんだ、と子どもたちに知ってほしいです。主人公やその父が読書家で、他の物語に関する会話があるのでこの作品が気に入ると、派生して読みたい物語も次々と出てくるはず! テロ被害に遭ってから言動統制が厳しくなっていく設定はやや古びた発想に(二次大戦中の日本状態に似て)思いましたが、9.11以降の世界には通じるものがあり、現代の人々には、己の世界にひきつけて読むことができるかと。(女性 40代 柏市)</p>

『魔の海に炎たつ』 岡崎ひでたか 作 小林豊 画 くもん出版 2004 (くもんの児童文学) 対象：中学～

南房総を舞台にした漁師の物語。自然を相手に生活する人たちの暮らしをとおして、わたしたちの心に訴える。同じ千葉県民としてこのように暮らす人たちがいる、という認識を改めて知ることにもなった。今の生活、特に千葉県は海のもの、山のもの、豊富な自然にめぐまれているが私たちの口に入るまでにはたくさんの人の手を経ている。あたりまえではない事を痛感した一冊。(女性 50代 木更津市)

南総里見八犬伝

『Junior里見八犬伝 全10巻』 滝沢馬琴 原作 生越嘉治 文 あすなる書房 1994-1995 対象：小中～

千葉県を舞台にした日本の古典文学である。時は鎌倉時代、「仁」「義」「礼」「智」「忠」「信」「孝」「悌」とふしぎな玉をもつ八人の犬士達が愛と正義の為に悪と戦う冒険ファンタジー。1～10巻までと、ちょっと大変だけど、とても読みやすく書いてありますので、大人になるまでに一度読んでみて。活字が大きいので、年配の方にもお薦めです。(女性 50代 銚子市)

『南総里見八犬伝 ー八人の勇士とふしぎな玉ー』 新装改訂版 長崎源之助 編 小峰書店 1998 (はじめてであう日本の古典) 対象：小高～

「南総里見八犬伝」は、滝沢馬琴という人が書いたもので、里見家につかえた8人の勇士が大活躍する話です。波乱万丈のストーリーや、八勇士の強さと正義感や、奇抜な趣向の連続や、正しい者が必ず勝つ痛快さ等が、読む人の共感をよびます。この物語は作者の滝沢馬琴が、28年間にわたって書いたもので、規模のすばらしい、雄大な大長編です。小学生にも楽しく読めるので、古典入門へのきっかけになる一冊です。(女性 50代 銚子市)

『少年少女古典文学館 22 里見八犬伝』 栗本薫 著 講談社 1993 対象：中学～

以前テレビドラマで八犬伝を放送したので興味を持ち、本を読みました。私たちが住んでいる千葉県を舞台にしている、読みやすく挿絵もあるので、楽しく読ませていただきました。それぞれ名字に「犬」の字を持つ8人が集まっていく過程を読み進めていくのは、非常に読みごたえがありました。千葉県に住んでいる方には是非読んでもらいたいです。(女性 ～10代 香取市)

『南総里見八犬伝 全4巻』 滝沢馬琴 原作 浜たかや 編著 偕成社 2002 対象：中学～

丁寧な振られたルビと、レトロ調のイラストで、八犬伝に興味は有るけど…という人に特にお勧め。(女性 40代 白井市)

医療

『命をつなげ！ドクターヘリ ー日本医科大学千葉北総病院よりー』 岩貞るみこ 作 講談社 2008 (講談社青い鳥文庫) 対象：小高～

命を救うためなら0.00000001パーセントのわずかな確率であっても、ドクターはあきらめません。日本医科大学千葉北総病院に導入されたドクターヘリの、日々活躍している医者やフライトナース、ヘリの運行に携わる機長や整備士や運行管理士など、多くの人々の救命救急の熱意が伝わってくる1冊です。(男性 20代 佐倉市)

成田空港

『国際空港の24時間』 藪野正樹 著 ポプラ社 1991 (どんぐりブックス)

対象：小高～

午前4時半に、新東京国際空港（現在の成田国際空港）では、空港のオープンにそなえて、管理室の車が滑走路を走っていきます。タイヤの破片や、鳥の死がいなど、事故をひきおこしそうなものが落ちていないか点検するためです。滑走路と誘導路全体の点検をすると、走行距離は55キロにもなるそうです。眠ることなく常に活動している空港についてのノンフィクションです。(女性 30代 千葉市)

『麻薬探知犬シェリー -奇跡の名犬-』 岡村啓嗣 文・写真 旺文社 1986

(人間と動物 愛のシリーズ)

対象：小高～

現在では広く知られるようになった麻薬探知犬。成田空港に近い税関の施設で訓練されていますが、その存在を子どもたちに知ってもらえるのにいい1冊。(女性 30代 佐倉市)

昔話

『千葉のはごろも』 あんどうみさお ぶん はまだきよし え ほるぷ出版 1976

(房総むかしむかし絵本)

対象：小低～

書店では手に入らないようですが、切り絵も美しく、千葉の昔話が紹介されていますので子どもたちに読んでもらいたいと思います。(女性 30代 八千代市)

『千葉県ふるさとのむかし話』 荒川法勝 著 暁印書館 1995 対象：小中～

『真間の手児奈のはなし』など、県内各地の昔話39編を収めています。挿絵が想像力を掻き立てます。ふるさとの文化やふるさとの昔話を子どもたちに知ってもらいたいと思います。(男性 50代 市原市)

『千葉ふるさとむかし話』 千葉興業銀行 1992

対象：小中～

千葉県の各地域の昔話を集めた本です。大きな挿絵に大きめの文字、振り仮名も振ってあるので児童にも読みやすいと思います。それぞれの話に込められた教訓も書かれていて、物語の意味や時代背景も知ることができます。巻末には千葉興業銀行会長と女優・市原悦子さんとの対談も収録されていて、興味深いです。(女性 20代 匝瑳市)

『ふしぎな笛ふき猫 -民話・「かげゆどんのねこ」より-』 北村薫 文 山口マオ 絵 教育画劇 2005 対象：小中～

千葉県千倉町（現在は南房総市）に伝わる民話をアレンジしたもの。千倉在住の人気イラストレーター、山口マオさんが絵を担当、文章は、直木賞作家の北村薫さんが書かれています。民話や昔話というと古めかしいイメージがありますが、お二人の絵、文章によって、読みやすい本になっていると思います。(女性 30代 船橋市)

『読みがたり千葉のむかし話』 「千葉のむかし話」編集委員会 編 日本標準 2005

対象：小中～

ぼくの住んでいる千葉県にも、こんなに「たくさんの昔話や民話が語りつがれていることを初めてこの本で知りました。周りは海と川、平野と山でかこまれて、自然がいっぱいの千葉県にその土地の言葉でとてもおもしろくてふしぎな話があり、びっくりしました。千葉県の昔を知ることでもできるとても勉強になる本でした。(男性 ～10代 銚子市)

* 『千葉のむかし話』(1973年刊)の改題です。

<p>『千葉県の民話 一証誠寺のタヌキばやしほか一』 日本児童文学者協会 編 偕成社 1980 (県別ふるさとの民話) 対象：小高～</p> <p>題名のとおり、千葉県内のむかし話を集めた本。民話MAP付き。(女性 20代 習志野市)</p>
<p>『千葉の伝説』 千葉県文学教育の会 編 日本標準 1981 対象：小高～</p> <p>千葉県の伝説の「へびむこどの」というのを読みました。むすめは器量よし。男も、きりりと男らしい気品があった。娘の親は男を婿にと考え、名前や住むところを聞いたが教えてくれない。ある日策を講じ、住まいを探しあてるとそこにいたのは…。その他にも、たくさんの伝説があります。(男性 ～10代 匝瑳市)</p>

伊能忠敬

<p>『伊能忠敬 一足で日本を測る一』 小西聖一 著 理論社 2003 (NHKにんげん日本史) 対象：小中～</p> <p>江戸時代に17年間4万キロにおよぶ実測を基に作られ、その正確さと美しさで世界に誇れる「伊能図」とよばれる日本地図。作ったのは千葉県九十九里で生まれた伊能忠敬です。この本は忠敬が「伊能図」を完成させた経緯、忠孝を助けた当時の人々、村や藩、幕府の対応などが小学生にもわかりやすく書かれています。千葉県の歴史を知る上で是非読んでもらいたい本として推薦します。(女性 50代 八街市)</p>
<p>『伊能忠敬 一歩いてつくった日本地図一』 鈴木喜代春 作 岩崎書店 1998 (フオア文庫) 対象：小中～</p> <p>江戸時代に、測量のために、北海道から九州までの日本の各地を歩いた伊能忠敬の伝記です。その距離は地球を1周以上するほどだったそうです。日本地図を完成させた佐原出身の忠敬の偉大な生涯が、小学生にもわかりやすく書かれています。(女性 30代 千葉市)</p>
<p>『伊能忠敬』 三枝博音 著 国土社 1978 (世界伝記文庫) 対象：小高～</p> <p>千葉県の有名人といえば伊能忠敬です。この本はふりがなを振ってあるので小学生から読めますが、記述がしっかりしていると思います。(男性 40代 千葉市)</p>
<p>『伊能忠敬 一日本列島の海岸線を歩きとおし、日本初の実測図を作りあげた忠敬の足跡一』 渡辺一夫 文 ポプラ社 2003 (徹底大研究日本の歴史人物シリーズ) 対象：小高～</p> <p>この本は、千葉県で有名な歴史人物「伊能忠敬」について書かれている本です。伊能忠敬は日本地図のもととなるものを作った人物です。みずからが日本を歩き測量しました。そんな伊能忠敬の一生が書かれています。伊能忠敬は千葉で有名な人物で日本地図のもとを作ったとてもすごい人なので、いろいろな人にこの本を読んで欲しいと思います。(女性 ～10代 匝瑳市)</p>
<p>『天と地を測った男 一伊能忠敬一』 岡崎ひでたか 作 くもん出版 2003 対象：中学～</p> <p>忠敬を測量にかりたてた時代の流れや、周囲の人々まで含めた大きな視野から「伊能忠敬」を描く。図版資料も豊富に使用。子どもと大人が共有できる児童文学。(女性 50代 市原市)</p>

ドン・ロドリゴ

『ドン・ロドリゴの幸運 ー交流の始まりー』 小倉明 作 山口まさよし 絵 汐文社
2008 対象：小中～

今から400年以上も前に、御宿で実在した日本とメキシコとの交流。船が難破し、御宿に漂着した300人ものメキシコ人を助けた村人の勇気ある決断には、現代人が失い、見習わなければならない美德や献身の心が存在していることに感動します。助けられた総督ロドリゴの目を通した物語は、子どもたちに分かりやすく平易で、視覚的です。日本人として、千葉県人として、古人のすばらしい行いを学ぶためにも、小学生にぜひ、読んでもらいたいと思いました。(男性 50代 松戸市)

『日本・メキシコ友好物語 ー日本・メキシコ友好四〇〇周年記念ー』 齊藤弥四郎 文
清水三枝 絵 大多喜町役場 2009 対象：小中～

日本とメキシコが友好関係を築くきっかけとなったいきさつが大変わかりやすく書かれています。絵や写真も多く小学生にも読みやすい本です。ぜひ一読して、千葉の先人の人類愛を学び、郷土をより一層好きになってほしいと思います。(女性 50代 御宿町)

ひと

『ボランティアに生きる ー地の塩の箱をつくった江口榛一ー』 大石勝男 作
岩淵慶造 絵 金の星社 1999 (みんなで話しあおう！にんげん発見シリーズ)
対象：小中～

心ある人はお金を入れ、困った人は自由にそのお金を使うことができる。そんな「地の塩の箱」と呼ばれる鍵がかかかっていない募金箱が全国各地に置かれ、失業者や困窮する人々を助けていた。この運動の創始者である・江口榛一氏が千葉県庁前に初めてその箱を置いたのは1956年秋のことであった。(女性 30代 千葉市)

『石川倉次物語 ー日本点字の創始者ー』 永嶋まつ子 著 永嶋まつ子 2009
対象：小高～

「石川倉次」は日本点字を考案した人です。千葉県庁に「千葉県の偉人」として掲げられています。「石川倉次」は、浜松や長南・鶴舞で育ち、長南町・柏市・千葉市・茂原市の子どもたちに勉強を教え、その後、日本点字の研究と発展に尽くし、生涯、視聴覚障害児教育に携わりました。小学生でも読めるように読みがながふつてあります。(女性 20代 茂原市)

『左千夫さん』 春木千枝子 著 前嶋実 絵 成東町歴史民俗資料館友の会 1984
対象：小高～

この本は名作『野菊の墓』を書いた、伊藤左千夫さんの生涯をまとめた本です。左千夫さんは、千葉県の成東町で生まれました。左千夫さんを知っている人は数少ないと思います。私もこの本を読んで知りました。成東町には石碑がたくさんあります。ぜひおとずれてみてくださいね。(女性 ～10代 旭市)

『史跡と人物でつづる千葉県の歴史』 改訂新版 千葉県教育研究会社会科教育部会 編著
光文書院 1986 対象：小高～

小中学校の先生が書いた千葉県の歴史の本です。写真や図を使っていて、小学生にもわかりやすく書かれています。巻末に索引があります。(女性 20代 千葉市)

『千葉県を築いた人びと』 千葉県教育研究会社会科教育部会 編 旺文社 1985
(郷土を築いた人びとシリーズ) 対象：小高～

千葉県の発展につくした人物50人について、県内の小中学校の社会科の先生により書かれた本です。たくさんの人物が紹介されているので、こんな人物が千葉県で活躍していたのかという発見があります。1人当たり見開き4ページでまとめられていて、人物の年表や図、写真も多く、わかりやすいところもおすすめです。(女性 30代 習志野市)

『千葉の先人たち』 千葉県教育研究会社会科教育部会 編著 光文書院 1981
対象：小高～

新井白石、堀田正睦、伊藤左千夫等千葉県に縁のある人々の伝記。(女性 30代 千葉市)
*千葉県出身の人物や千葉県を活躍の舞台とした人物19人を中心にとりあげ紹介しています。

『まぼろしの花がさいた ー二千年まえのハスを開花させた大賀一郎博士の六十年ー』
神戸淳吉 作 木俣清史 絵 くもん出版 1988 (くもんのノンフィクション・愛のシリーズ) 対象：小高～

縄文時代の遺跡から発掘された古代ハスの種から開花を成功させた、植物学者の大賀博士の伝記です。この遺跡は千葉市検見川にあり、地元の小中学生などの助けによりハスの種は発掘されました。日本各地で、夏になるときれいな花を咲かせるハスは博士が開花させたハスの子孫です。博士は千葉県の人ではありませんが、千葉県にゆかりの人物としてこの本を推薦します。(女性 30代 習志野市)

いきもの・自然

『校庭の1年 ー生まれて死んで、また生まれるー』 たかはしきよし 絵・文 借成社
2003 (小さな地球) 対象：小低～

千葉県酒々井町の自然をモデルに、小学校の校庭の1年を定点観察し、校庭に育つ植物や、やってくる昆虫・動物を、精密な絵で描写しています。(女性 30代 千葉市)
*同じシリーズで、『帰り道の1年 ー生まれて死んで、また生まれるー』(2006年刊)もあります。

『たんぼのおばけタニシ』 大木淳一 しゃしんとぶん そうえん社 2009
(そうえん社写真のえほん) 対象：小低～

本書は、九十九里地域での米作りと、それに被害をもたらす外来生物(おばけタニシ：スクミリンゴガイ)の生態や、人との係りを、読みやすい平易な文章で紹介した科学絵本です。子どもから大人まで全ての世代に、ふるさとの自然の現状とあり方を考えるきっかけを提供してくれます。(男性 40代 茂原市)

『幻のカエル ーがけに卵をうむタゴガエルー』 大木淳一 写真・文 新日本出版社
2006 (ドキュメント地球のなかまたち) 対象：小中～

養老溪谷の崖に棲むタゴガエルは、親でも30～58ミリと小さい上、崖の隙間の奥深くの、わずかな水でオタマジャクシが育つため、見つかりにくく、鳴き声は聞こえるけど姿は見えない、幻のカエルとされています。この本は、めったに見ることのできないタゴガエルの暮らしぶりを、豊富な写真で教えてくれるとともに、こんな珍しいタゴガエルが身近に生息している千葉の自然を、いつまでも豊かなまま守りたいと感じさせてくれます。(未記入)

**『命のバトンタッチ ー障がいを負った犬・未来ー』 今西乃子 著 岩崎書店 2006
(イワサキ・ノンフィクション) 対象：小高～**

この本は、障がいを負った「未来」という名の柴の子犬の話です。ぼくがみんなにこの本を読んでもらいたいの、人間のせいで右足切断、右目負傷になった柴の子犬の「未来」を知ってもらいたかったからです。「未来」は、酒々井町の馬橋に捨てられていたのを住人によって発見されました。この本には、千葉県への優しさが伝わって来るのでしょうか思います。(男性 ～10代 市原市)

**『ウミホテルの歌 ージュニア・サイエンスー』 武中豊 文・画 新風舎 2006
対象：小高～**

この本は、千葉県を舞台にした作品です。主人公のジュンは、5年生のときに行った臨海学校でウミホテルの観察をしてからウミホテルに興味を持ち、ウミホテルのことを調査する話です。ジュンたちの調べた「ウミホテル」は全国の科学コンテストに入賞し、さらに、日本代表として「ウミホテル」について発表することになり、遠い国を目指したのです。ウミホテルの性質などよくしれたのでよかったです。(女性 ～10代 館山市)

**『貝殻の採集と観察』 馬場勝良 著 さ・え・ら書房 2002 (やさしい科学)
対象：小高～**

小学校5年生の男の子が、江戸川から始まり、稲毛海岸、富津、館山まで貝を採取していく物語仕立ての観察本です。貝の採取方法や生態だけでなく、料理や化石などの関連話題、レポートの書き方についても押さえられています。いつの時代でも、千葉の小学生ならこれ1つで夏休みの自由研究と一夏の思い出がGETできる、夏にぴったりの1冊です。(女性 20代 習志野市)

**『ぼくは貝の夢をみる』 盛口満 著 アリス館 2002 (ゲッチョ先生の博物館)
対象：小高～**

この本を書いた人は、子どもの時から貝殻を集めるのが好きでした。館山市で生まれ、毎日海岸で貝を拾っては図鑑で調べ、その謎を考えたりします。大きくなるにつれ、「貝を集めているなんて“普通”じゃない、人に知られたら恥ずかしいな」と思い、生き物への興味を隠すようになります。でも、結局、自分の好きなことはやめられませんでした。「普通」って何？と考えて成長して、自分なりの答えを探していく様子が書かれた本です。(女性 20代 松戸市)

**『生きている海東京湾 ーここから日本の海がわかるー』 香原知志 著 講談社 1996
対象：中学～**

千葉県の西部に面している東京湾。その東京湾の歴史やすんでいる生き物について、また汚染の現状について、多くの写真を使ってわかりやすく紹介されています。船橋漁港の漁師たち、三番瀬、谷津干潟、館山のサンゴ礁など千葉県と東京湾の関係についてよくわかり、また、海と生き物を守っていくために私たちがすべきことを考えさせられる1冊です。(女性 30代 習志野市)

**『鴨川シーワールドのなかまたち ー鴨川シーワールド開園40周年記念ー』 [鴨川シーワールド 編] 鴨川シーワールド 2010
対象：中学～**

鴨川シーワールド開園40周年記念に発刊されました。飼育スタッフによる動物とのエピソードと動物たちの写真ともにすばらしく、頭も心も癒される1冊です。(未記入)

『子どもとふれあう千葉しぜんたんさくガイド』 松戸市理科同好会ネイチャーグループ著
丸善メイツ 1998 対象：中学～

親子で楽しみながら自然観察ができる県内のスポットが紹介されています。現地で見られる生き物や植物の写真がカラーで載っています。危険回避のガイドもあります。(女性 30代 松戸市)

『ごめんね、傷ついた鳥たちよ - 電車運転士の救助活動-』 井上こみち 著 ポプラ社
1999 (ポプラ社いきいきノンフィクション) 対象：中学～

電車とぶつかってしまう事故にあって傷ついた鳥たちをたったひとりで救いはじめた京葉線の運転士さんの、勇気とやさしさにあふれた行動を紹介したノンフィクションです。(女性 30代 千葉市)

くらし

『海に入るみこし - 房総大原の秋祭り-』 浅野陽 作・絵 古今社 2003
対象：小低～

この本は、大原の祭りについて書いてある絵本です。絵本なので、とてもきれいな絵と文章で分かりやすく、祭りに関して説明してくれます。子供から大人まで楽しめる本だと思います。(女性 未記入 大多喜町)

『神さまのいる村 - 白間津大祭物語-』 かわな静 作 山口マオ 絵 ひくまの出版
2006 対象：小高～

白間津大祭が千年も続く秘密は祭りの中心に「子ども」がいることなのです。白間津に住んでいる慧と祐介は、祭りの日天と月天という大切な役に選ばれました。でも祭りの練習と、水泳の練習が重なって優勝できなくなると思う慧、ぜん息がひどいから不安な祐介は、やろうか迷います。この二人の成長が、私たちを感動へとみちびくのです。この本をかいた人、描いた人、話のモデルは、南房総市に住んでいるのです。読んでみてください。(女性 ～10代 鋸南町)

『母と子の楽しい太巻き祭りずし作り方教室-全40作品私にもできる手順の本-』
改訂新版 龍崎英子 著 東京書店 2009 対象：小高～

房総の太巻き祭りずしは、千葉県を代表する”食文化の華”として知られています。この本書の構成は、基礎編実習編と教養編、伝承編の四つの編から成っています。太巻き祭りずしは、お祝いや、お祭などの晴れの日のご馳走として受け継がれてきました。また必要な道具や食材、作り方を初心者にもわかりやすく解説されています。花や動物などの作品も色鮮やかに収録されており、太巻きずしのルーツも紹介されています。この郷土が生み育んできた優れた技術を絶やさないためにも母から子へ受け継いでもらいたいと思い、この書をここに推薦します。(女性 40代 いすみ市)

『太巻き祭りずし新作フルレシピ集 - 楽しいきれいおいしい-』 龍崎英子, 杉崎幸子 著
東京書店 2005 対象：小高～

房総半島の伝統料理の太巻きずしの作り方のプロセスが写真つきでのっています。基本の花のおすしのほかにも、てんとう虫やレッサーパンダ！まで、見事な切り口が現れます。家族で楽しみながら作ってみたいです。(女性 30代 松戸市)

地理・歴史

<p>『千葉の地理ものがたり』千葉の地理ものがたり刊行委員会 編著 日本標準 1982 対象：小高～</p> <p>県内を地域別に分けて、各地域のあらまし、特徴などが書かれています。巻末には各市町村ごとの説明があります。(男性 40代 四街道市)</p> <p>*各市町村の説明は、出版された当時のものです。</p>
<p>『千葉の歴史ものがたり』 「千葉の歴史ものがたり」編集委員会 編 日本標準 1981 対象：小高～</p> <p>千葉の歴史を読みやすい物語として書いた本です。巻末に簡単な人名辞典があります。(女性 20代 千葉市)</p>
<p>『ぼくらの千葉県 ー郷土の地理と歴史ー』 樋口誠太郎 編著 ポプラ社 1981 (ポプラ社の県別シリーズ) 対象：小高～</p> <p>千葉県の歴史、政治、産業、生活について、多くの図表や写真を用いて、たいへん分かりやすくまとめてあります。巻末には、千葉県の方言や民謡も掲載してあります。(男性 40代 四街道市)</p>
<p>『図説千葉県の歴史』 三浦茂一 責任編集 河出書房新社 1989 (図説日本の歴史) 対象：中学～</p> <p>図説日本の歴史シリーズの千葉県版。時代別、テーマ別に編集されていて、興味があるところから読んだり、調べ物をするのにも便利。写真や図版も多く、振り仮名がついているので読みやすいと思います。(女性 30代 松戸市)</p>
<p>『利根川物語』 高橋裕 著 筑摩書房 1983 (ちくま少年図書館) 対象：中学～</p> <p>昔から千葉県に住む人々の生活に関わりが深い利根川。この利根川を上流から下流へと下りながら、それぞれの地域に関する話題が収められています。利根川全体像、その歴史的發展、そこで苦悩し活躍した人々等について紹介されています。(女性 30代 千葉市)</p>